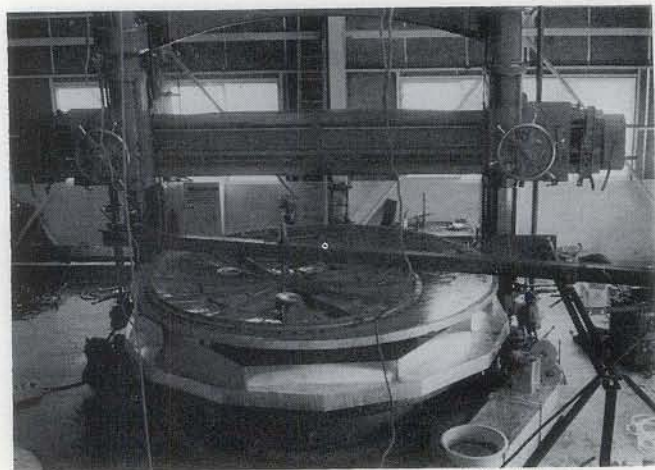
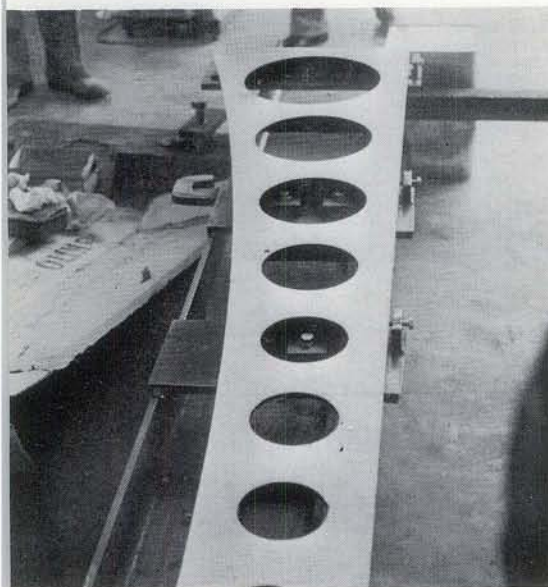


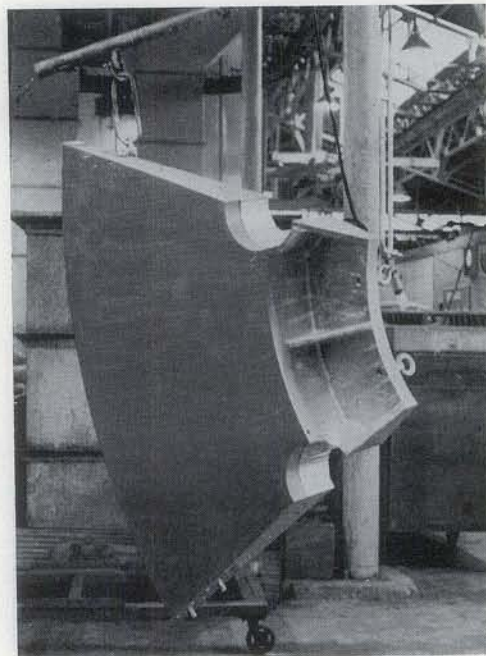
▲ ① 荒加工準備中の外周鏡



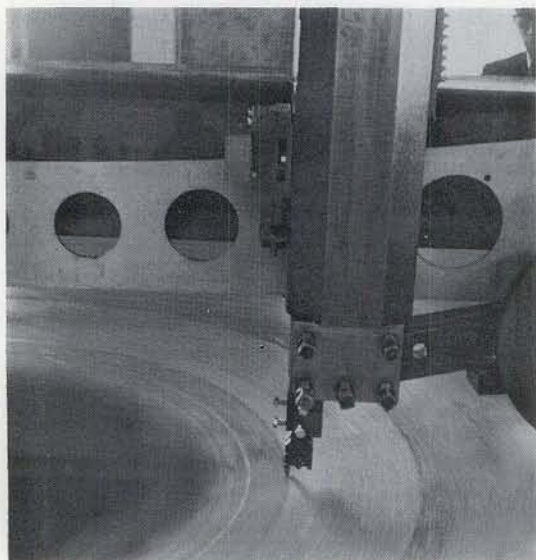
▲ ④ ターニングにアタッチメントをつけて砂ずり作業中



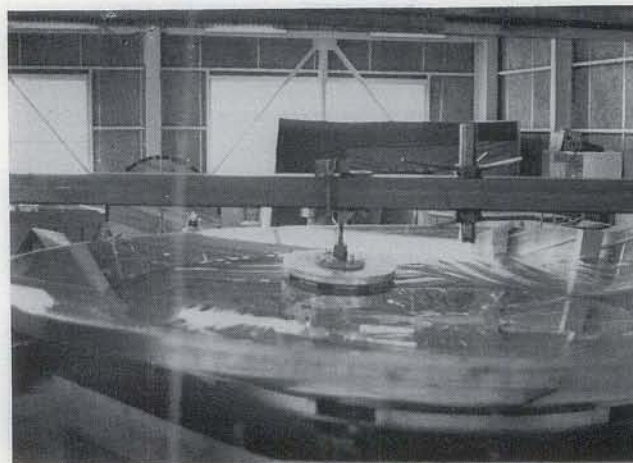
▲ ② 牧野フライスで NC 加工した放物線ならい
ゲージ 精度 ± 1 ミクロン



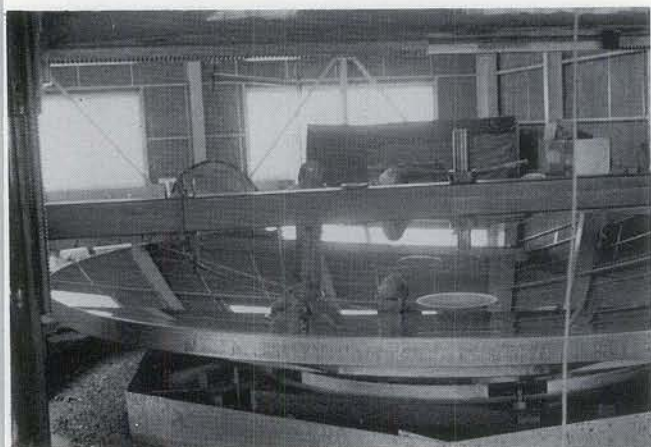
▲ ⑤ カニゼンメッキが終った外周鏡の一片



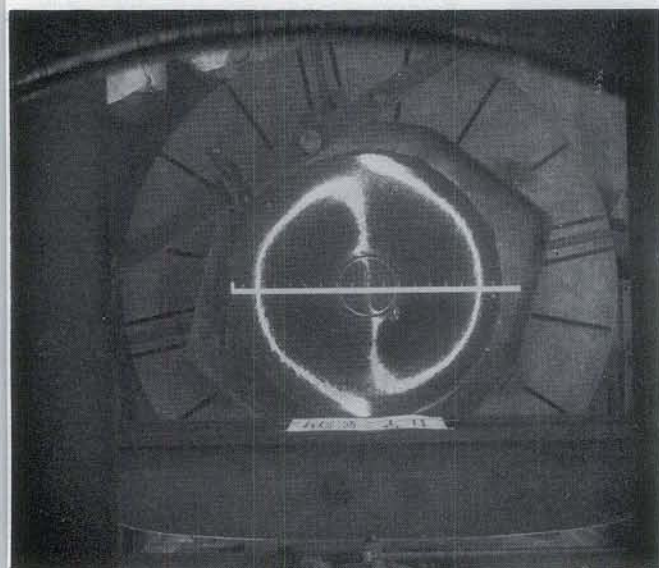
▲ ③ ならい加工中の鏡面
自動送りピッチ 0.1mm



▲ ⑥ 光学研磨進行中
既にかなり光っている。



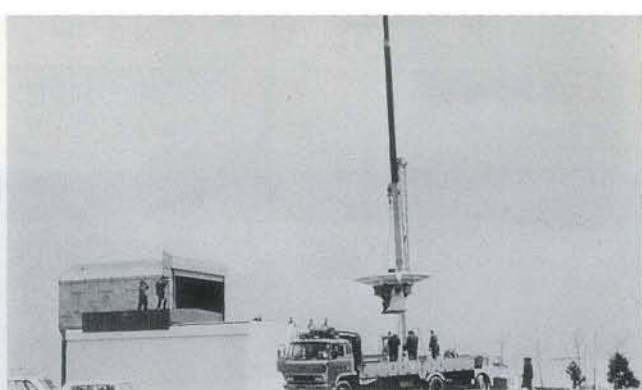
▲ ⑦ 光学研磨中におけるディスカッション



▲ ⑧ 中心鏡のスリット方式によるゾーンテスト



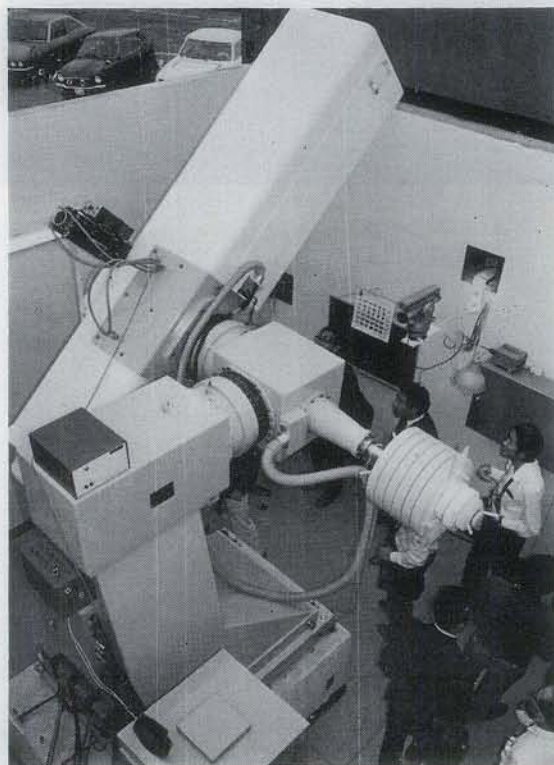
▲ ⑨ 堂平観測所へ運搬中の主鏡部分



▲ ⑩ 主鏡部分の吊り込み



▲ ⑪ 観測室に据えつけられた受信鏡と見学者

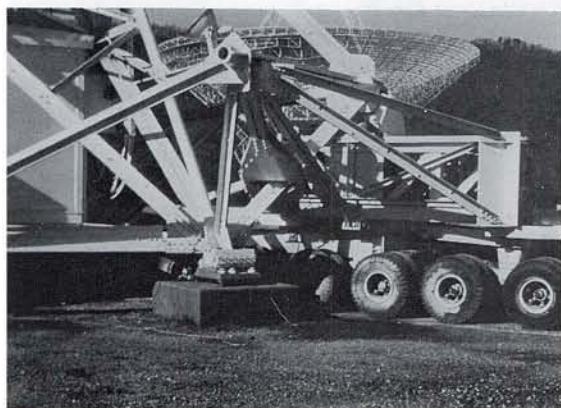
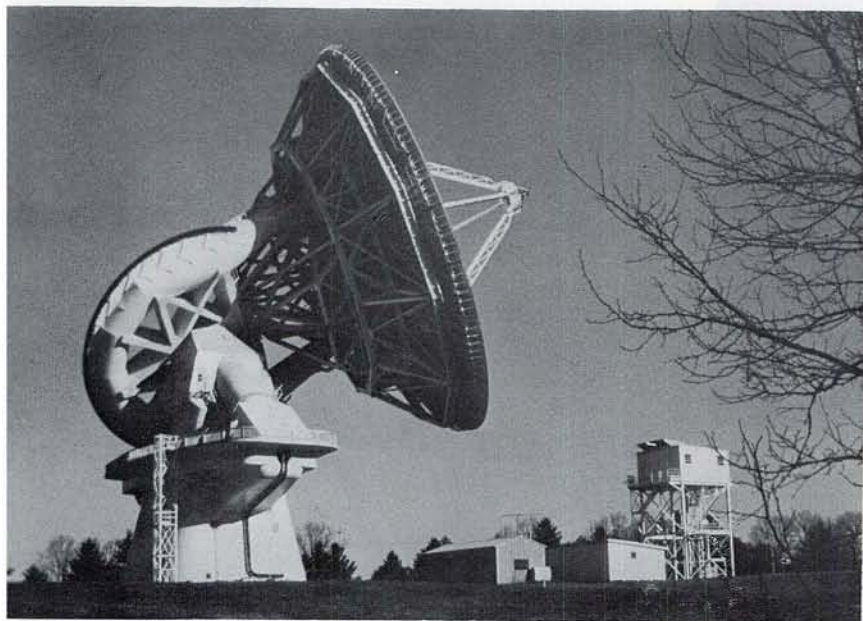


▲ ⑫ 送信望遠鏡と見学者

アメリカの電波天文学 (本文 288 頁参照)

◀ NRAO の主砲, 42 m 電波望遠鏡 (グリーンバンク)

▼ 42 m 鏡の主焦点部をメンテナンス用キャビンに突っ込んだところ, 真中に受信器箱がみえる。



▲ 干渉計の脚部とステーション. 移動の時は付属の油圧ジャッキでもちあげ, けん引車にひかれてアスファルトの路面を移動する。

25 mφ 3 素子干渉計 (NRAO, ▶ グリーンバンク), 最大スパン約 2 マイル, 右にけん引用の車がみえる。

